

令和4年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 実施状況一覧

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
1	神戸市	SNSとAIを活用したキャリアカウンセリング・キャリアアップサポート事業	<p>就職氷河期世代のうち非正規雇用など不安定な就労環境にある方が、働きながらもキャリアアップや正規雇用に向けた活動が行えるよう、SNSやAIを活用したオンラインプラットフォームを開発し、相談、研修、マッチング支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職者数(非正規を含む) R4目標:200 R4実績:185 <p>本事業にて好調に結果を出してきた結果、資金調達に成功し、かつCompass社自体の採用が好調となり、オペレーションの確立・体制の拡充が実現された。効率的にマッチングまでの支援ができるようになった結果、就職者数についても未達ながらもおよそ目標値に到達することが出来た。ただし、求職者のニーズに合致するような求人案件の件数については、目標達成のためには向上の余地があると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング受講者数 R4目標:750 R4実績:3,156 ・オペレーションの確率・体制拡充の一貫として、LINEでの定期的な情報配信(例:お勧め求人3選、履歴書の書き方他)を行った結果、チャットボットの友達ユーザーからの相談の要請件数が増大した。体制の拡充に伴い、人材コーディネーター(4名)の拡充・相談フローの効率化を行っており、このように増大した相談の要請に安定して対応できるようになっており、これらの結果、カウンセリングの受講者数も好調に推移した。 ・チャットボットの友達ユーザー数 R4目標:6,000 R4実績:7,583 <p>R3に「Middle Carrer」へ名称変更を行って以来、LINE広告を中心にWebマーケティングを強化した結果、500名/月の流入などLINEの友達登録件数は好調に推移し目標を超過して達成することが出来た。</p>
2	神戸市	ひきこもり状態等にある方の就労支援充実	<p>2020年2月に設置した「神戸ひきこもり支援室」を本格稼働させ、電話等による相談に加え、相談員による家庭訪問や医師等専門職で要請する専門チームの派遣、関係機関とのネットワーク構築による情報の一元化を行うことで、早期支援や長期化の防止を目指した。また、地域若者サポートステーションにおいて就職氷河期世代の無業者に対して心理カウンセリングを行い、結果を踏まえてサポステの適切な支援プログラム等へつないだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり状態にある就職氷河期世代の方のアウトリーチ型の相談件数 R4目標:24 R4実績:37 ・地域若者サポートステーションにおける心理カウンセリング実施件数 R4目標:80 R4実績:90
3	神戸市	氷河期世代の転職・再就職及び市内企業人材確保の同時的推進事業	<p>就職氷河期世代向けに就労に必要なスキル・意欲向上等を目的としたセミナーによりスキルアップを図り、就職氷河期世代の採用に意欲と理解のある企業の開拓を並行して行い、職場見学・職場体験を含む丁寧なマッチング支援を通じて採用につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷河期世代向け就業支援セミナーへの参加者数 R4目標:220 R4実績:143 <p>今年度は3年間の集大成として令和3年度までの実績を広報することで更なる実績向上を目指し目標値を設定していた。今年度は行動制限が緩和され、昨年度の実績(114)より伸びたが、事業の周知が行き届かず、目標値達成には至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場見学・職場体験の参加人数 R4目標:60 R4実績:44 ・セミナー参加者の目標値未達に伴い、職場見学・体験に繋がる機会も伸び悩んだ。また、単発のセミナー開催では職場見学・体験へのつながりが薄く、セミナー受講に留まる参加者が多いことも目標値未達の要因と考えられる。 ・本事業を通じ正規雇用としての採用に至った人数 R4目標:10 R4実績:3 <p>職場体験の参加人数の目標値未達に伴い、採用人数の目標値も未達となった。また、短期間のセミナーではスキルアップが難しい求職者が多く、職場体験・見学から選考を受けた方の採用率が想定より低いものとなった。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
4	明石市	就職氷河期世代活躍支援事業	<p>現在仕事をしていない就職氷河期世代の方々の就職を実現させるため、能力向上を目的としたセミナー(5回)・相談会(1回)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・相談会等への参加人数 R4目標:30 R4実績:32 ・セミナー・相談会への参加後に就職決定した人数 R4目標:8 R4実績:13 ・セミナー・相談会への参加後に進路決定した人数(上記を除く) R4目標:2 R4実績:2 <p>連続講座という形式に出席することで毎回ステップアップする機会ができたことで就職の準備が進んだ。グループワークの時間を必ず盛り込んだため、セミナー形式であったが、ピアカウンセリングに近い効果が得られ、前向きに就職活動に取り組むようになったと考える。</p>
5	西宮市	就職氷河期世代就活サポート事業	<p>就職氷河期世代の市民を対象に、就労に向けたスキルアップに繋がる各種セミナー・講座、合同就職説明会・面接会などを実施し、無業状態からの脱却、正規雇用での就職等への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動応援セミナー参加者数 R4目標:12 R4実績:76 <p>市政ニュースへの広報記事の掲載およびハローワーク窓口からの参加者誘導により、想定以上の参加者を集めることができた。特に氷河期世代を対象としたパソコン講座のニーズは非常に高く、満席となる盛況ぶりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同就職説明会・面接会参加者数 R4目標:16 R4実績:9 <p>市内事業所の氷河期世代に対する採用意欲が想定以上に希薄であり、当初は複数事業所が出展する形での面接会運営を予定していたが、出展企業を集めることに苦戦した結果、1社ずつの説明会を2日間に渡って実施という形となり、参加者数を伸ばすことができなかったから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職決定者数(正規雇用者数) R4目標:4 R4実績:2 <p>本事業の就職決定者数は全体で6名、うち正規雇用者数2名・契約社員2名・派遣社員2名という結果であった。就職決定者6名は全員40代以上であったが、年齢がネックとなって最初から正社員という形ではなく、契約社員や派遣社員として就労開始したのち、双方納得の上で正社員に移行というケースも見られた。当該年齢層の方が初めから正社員として就職することの難しさが改めて浮き彫りとなった。</p>
6	伊丹市	就職氷河期世代就労サポート事業	<p>若年層や就職氷河期世代の就職困難者に対し、求職活動に向けての基礎的知識を習得するためのセミナーや職場体験実習を実施した。年2回開催(10月～12月)。</p> <p>①第1回:市内在住の概ね50歳までの無職の人10人募集。1人受講。就職決定者0人。</p> <p>②第2回:非正規雇用で働く人で正社員をめざす人20人募集。6人受講。就職決定者1人。</p> <p>①と②のまとめとして合同就職面接会&会社説明会(オープン参加)を実施。参加者16人のうち就職決定者2人。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の内、就職氷河期世代受講者の人数 R4目標:18人 R4実績:3人 <p>本市以外にも近隣自治体において就職氷河期世代対象試験が実施されたほか、ハローワーク伊丹においても就職氷河期世代対象の面接会等の取り組みが開催されていたことや、事業実施時期を年度後半に集約したことで目標に達しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代受講者の内就労した者の人数 R4目標:12人 R4実績:1人 <p>働く意欲はあるものの、コミュニケーションが苦手な受講者が多く、就労への心理的な負担軽減や意思決定に時間を要する受講者が多く、事業期間内に就労につなげることが出来なかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職した者の内、正社員となった者の人数 R4目標:8人 R4実績:1人 <p>市内就労を希望していたが、希望職種の募集枠が少なく、事業期間内に就労に結びつけることが困難だった。</p>
7	宝塚市	就職氷河期世代リモート型就労支援事業	<p>就職氷河期世代のうち不本意ながら不安定な仕事についている方、働きながらキャリアアップを望む方などを対象に、SNSアプリ「LINE」を活用したシステムを開発し、就労に関する相談、キャリアカウンセリング、セミナー情報の配信等、オンライン上で就労支援を実施。提供サービス名は「ツカヤリ」とし、令和2年10月9日より運用を開始し、令和4年度も引き続き運用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業による就労者数(非正規採用を含む)R4目標:13人 R4実績:10人 <p>令和4年8月以降、既存のユーザーへのアプローチに力を入れたことで、仕事紹介面談の利用件数が伸び、毎月一定程度就職決定に至っているが、本サービス内で提供する求人情報に限りがあるなど、目標達成には至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアカウンセリング利用件数 R4目標:150件 R4実績:319件 <p>令和4年8月以降、SNSアプリ「LINE」上で、利用を促す広告を掲載し、友だち登録者が増えたことに加え、既存のユーザーへキャリアカウンセリング等を活用するよう促すような情報配信を行ったことで特に仕事紹介面談の利用件数が伸びた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報配信に対するアクセス数 R4目標:1800回 R4実績:22,910回 <p>令和4年8月以降、SNSアプリ「LINE」上で、利用を促す広告を掲載し、友だち登録者が増えたことにより、情報配信に対するアクセス数が非常に多くなった。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
8	川西市	就職氷河期世代就労支援事業	氷河期世代に向けた面接指導、履歴書の書き方、自己PR等を指導するキャリアカウンセリングの実施、就労を希望している無業の方に職業体験の機会を提供する就労体験プログラムの実施及び自分に合った働き方に関する動画配信、セミナー、個別相談会の実施をした。 <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数のうち氷河期世代の人数 R4目標:50人 R4実績:37人 人材不足の継続や就職情報サイト等の民間事業の充実、デジタル媒体を利用した周知の不足等により受講者数が伸び悩んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・上記のうち就労した者の人数 R4目標:6人 R4実績:5人 商工会等の事業者団体や近隣事業者等と密接な連携ができておらず、ニーズに合った就労体験先の開拓が十分でなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・上記就労した者のうち正社員及び常勤職員となった者の人数 R4目標:3人 R4実績:1人 人材不足の継続や就職情報サイト等の民間事業の充実により、事業対象者がより手厚い支援が必要な層へと移行してきており、長期にわたる支援が必要であるため、正社員及び常勤職員としての就労まで達しなかった。
9	加西市	地域若者サポートステーションの拡充	地域若者サポートステーションの対象者を54歳まで引き上げ、さらに「ひきこもり」の状態の者も一次相談窓口として対象とし、就職氷河期世代のすべてを支援対象として、対応した。また、ひきこもりの方及びその家族を対象に勉強会、座談会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・36歳～51歳でひきこもり状態にある方やその家族等からの相談件数 R4目標:12人 R4実績:3人 ・相談者中の就職等件数 R4目標:6人 R4実績:0人 全体の相談件数は増加傾向であるが、相談(対象)者は全体的に若く、対象年齢となる世代の相談件数が少なかった。
10	兵庫県	ひきこもりの居場所及び居場所へのつなぎ資源確保事業	市町を対象としたひきこもり支援勉強会を実施することで市町の居場所設置を推進し、県内に多様な居場所を確保する観点からインターネット環境を活用した電子居場所の設置した。また、自宅から居場所へのつなぎ支援のため、家族支援プログラムの人材養成研修及び電子媒体によるひきこもりを抱える家族交流会事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・居場所を設置する市町数 R4目標:11 R4実績:3 市町による支援体制の整備や具体的な施策・事業の取組の契機とするため実施している「ひきこもり支援勉強会」への参加自治体は、令和3年度の32団体から38団体に増加しているものの、財政的・人的な観点から設置が進まなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラム(CRAFT)の実践者及び支援者研修延受講者数 R4目標:150 R4実績:67 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、受講者数を制限したことに加え、一部受講予定者が新型コロナ対応で研修に参加出来なかった。
11	兵庫県	ミドル起業家支援事業	就職氷河期世代のうち、本人に合った形での就労や社会参加が可能となるよう、起業を考えている方に対して立上げ経費の一部を支援することで、安定した起業及び事業運営のサポートを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業を活用した起業家数(新規事業数) R4目標:20 R4実績:9 県内対象者に向けたチラシ配布や、県内のコワーキング施設での説明会を行ったものの、新型コロナウイルス禍からの経済活動の再開に伴い求人が伸びたことなどから応募件数が低迷した。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の活用による新規雇用数 R4目標:40 R4実績:9 スモールビジネスによる企業が多く、創業まもない段階では創業者単独で事業運営するケースが多いため。
12	兵庫県	ミドル世代就労支援事業	兵庫県が委託運営する、ひょうご・しごと情報広場にミドル世代就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代の抱える課題を踏まえ、キャリアカウンセリングから段階的な就職支援プログラムを実施し、個々の状況や適性に応じた就職支援を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうご・しごと情報広場におけるミドル世代の就労相談件数 R4目標:400件 R4実績:667件 求職者に相談窓口を利用してもらうため、HW等関係機関と連携を密にする等、窓口の広報に力を入れた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうご・しごと情報広場の支援によるミドル世代の就職者数(正規雇用) R4目標:15人 R4実績:8人 相談件数の増加に伴い、就職活動未経験者等といったより手厚い支援が必要な相談者も併せて増加したため、就職者数(正規雇用)としては、目標を下回った。

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
13	兵庫県	就職氷河期世代等就労支援プログラム事業	<p>就職氷河期世代のうち不安定就労者や未就職者等を対象に、安定就労に向けた就職活動を支援するため、ビジネスマナーや履歴書作成等の研修と企業とのマッチング等の就職活動支援を組み合わせた人材育成プログラムを実施し、就職氷河期世代の活躍支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムへの就職氷河期世代の参加者数 R4目標:30人 R4実績:22人 ・応募者数88名の中から十分に就労意欲やプログラムへの参加意欲のある者を選抜してプログラムを実施した。 ・プログラムに参加した就職氷河期世代の就職者数(正規雇用) R4年度目標:15人 R4年度実績:8人 <p>プログラム終了後3ヶ月間は個別相談、並びに報告会(月1回)を実施した。非正規雇用で就職したプログラム参加者には、正規雇用を目指して定期的に個別相談を実施した。また未就職者には法人が運営する就労相談窓口4拠点でキャリアコンサルタントによる個別相談を実施し、支援を継続した。</p>
14	兵庫県	おためし企業体験事業 in HYOGO	<p>就職氷河期世代の求職者等に対し、県内企業をおためし体験できる機会を提供することにより、求職者の適性に合った企業への就職を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業体験への体験者数 R4目標:200人 R4実績:196人 <p>令和4年度から事業の全面組替えを行い、年度当初の数ヶ月間は事業立ち上げ、企業募集等に時間を費やしたことにより、目標に達するほどの十分な求職者募集期間が確保できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業体験を通じた就職者数(正規雇用) R4目標:20人 R4実績:3人 <p>上記同様、年度当初の数ヶ月間は事業立ち上げ、企業募集等に時間を費やしたことにより、実際の体験期間が十分に確保できなかった。</p>
15	兵庫県	氷河期世代向け合同企業説明会事業	<p>就職氷河期世代に特化して合同企業説明会や企業情報提供の場を提供し、県内企業の魅力を知ってもらうことにより、就職氷河期世代と県内企業とのマッチングを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会及び就職支援セミナー参加者数 R4目標:200人、R4実績:144人 <p>合同企業説明会の準備に時間を要し、先立って実施した就職支援セミナーの広報期間が1週間程度しか確保できず、結果としてセミナー参加者数が想定を下回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会をきっかけにした就職者数 R4目標:10人、R4実績:17人 <p>対面型で様々な業種の企業が参加したことにより、求職者のニーズに合った企業のとマッチング機会を確保できた。</p>
16	兵庫県	就職氷河期世代のこころの健康電話相談事業	<p>精神保健の中核的専門機関である精神保健福祉センターに就職氷河期世代向けに特化した相談窓口を設置して、年間を通じて相談を受けている。相談事例については、必要に応じて関係団体との個別ケースの連絡調整会議を開催するほか、県民の身近な窓口である市町へフィードバックするなどしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代のこころの健康問題の相談件数 R4目標:220人 R4実績:256人 ・個別ケースの連絡調整会議の開催数 R4目標:5回 R4実績:2回 ・連絡調整会議から社会参加へつながった者の数 R4目標:3人 R4実績:6人 <p>連絡調整会議の開催回数は、目標を下回っているが、本事業の目的とする就業や社会参加に繋がった者の数は、目標を上回る実績となっており、事業の実施の成果はあがっている。</p>

令和4年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業実施状況に対する意見等

[令和5年7月13日 兵庫県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム運営会議]

意見等	事務局回答
意見なし。	